

『看護局の展望』 研修会実施報告

日時 : 平成 30 年 10 月 4 日（木）

対象者 : 全体研修

参加者数 : 43 名

目的 : 看護の動向を学び、看護の質の向上を図る

<講師の紹介>

認定看護管理者 看護局長

2013 年看護局長に就任され、看護雑誌にも数多く執筆されています。また病院内外問わず、看護局に関する P R 活動も精力的に行われています。



<内容>



大和高田市立病院の概要から始まり、現在の看護局の離職率や有給の取得率、院内で行っている様々な看護師の役割が紹介されました。そして、社会情勢をふまえ、医療・看護の変化について教えていただきました。その目まぐるしい変化に対応できるよう、2018 年に改訂された診療報酬をもとに、当院の目標や、看護職が直接関わっている診療報酬について紹介されました。実際に院内で多くの看護師が病院に貢献しているのがわかりました。また日本看護協会が 2020 年度から特定行為

研修をとりいれた、新たな認定看護師教育の開始を予定されていることや看護学校の 4 年制が検討されていることを知り、今後の看護師教育が専門職としてさらに高い質を求められていると感じました。

看護局のミッションとして「看護職員の働きやすい魅力ある職場環境づくり」・「看護及び看護職員の資質の向上」・「地域の人々への安全で安心な看護の提供」を上げられ、今まで看護局が実践されてきたこと、今後も取り組んでいくことについて紹介されました。

私たちはこれからのニーズをとらえて、さらに活発で元気な看護局であるために、職員一人一人が元気で笑顔で働ける WLB の充実を図っていく必要があると感じました。